

表紙写真説明: 京大観測班による赤外のフラッシュスペクトルで、左が第2接触で東側リム、右側3枚が第3接触で西側のリムである。時間は左上・左下・右下・右上の順に経過する。①第2接触8.9秒後で、彩層の高さは2500 km, 分散は  $21 \text{ \AA}/\text{mm}$ 。②第2接触34.1秒後で、彩層

の高さ 9500 km。③第3接触35.5秒前で、彩層の高さ9600 km, 上方の強い連続光はプロミネンスによるもの。④第3接触11.5秒前で、彩層の高さ 3100 km, ⑤第3接触2.7秒前で、彩層の高さは 730 km である。アルバム, 本文等の写真とフラッシュスペクトルの比較は大変興味深い。

## [ 発売中 ]

★ 著者が実際の観測経験を基に語るその日の天文現象や星空の話題と観測のヒントなど。

★ 話題に合わせた美しいカラー写真や星座写真。

★ 大きく見やすい日付と曜日。

★ その日の月齢・日出日入・潮の干満の基礎データ。

★ その日に見られる重要天文現象の予報とデータ。

★ 観測記録や思い出を書き込めるメモ欄。

MON \*\*  
**5**  
TUE

★ 明け方の空の水星 今月10日に西方最大離角となる水星が、いま明け方の東天でよく見えているので、朝焼けの空に輝く水星の姿をカラー写真で写してごらんになるのもおもしろい。こしげら水星は天文得明がはじまるころ東の空からぼってきて、日の出のころには  $17^\circ$  くらいの高さにのぼっているで、明け方の空に見えるものとしては今年いちばんの好条件である。しかも光度は  $-0.2$  等と明るく、おとめ座のスピカとならんで輝いているので、水星を見つけだすときの見当はさらにつけやすい。また、これは双眼鏡でないでもおもしろく見られるので注意してごらんになるので、これとの接近 (11月10日  $1^\circ 58'$  に近づく) といよ。

月 齢	20.6
日 出	6時 5分
日 入	16時 43分
月 出	21時 23分
月 入	10時 43分
満 潮	9時 3分
干 潮	19時 17分
干 潮	1時 45分
満 潮	13時 59分

★ ふたご座74番星(5.2等)が月の端から出でくる月の端で見られる。北緯の空で見られる。北緯  $22^\circ 45'$ 、高度  $22^\circ 03.1'$ 、時間  $22^\circ 58.9'$ 、方位  $22^\circ 58.9'$ 、月との距離  $50'$  を通る。

珠玉のエッセイと写真で綴る星空の365日。1974年度重要天文現象の全データを集録。

# 星日記1974

村山定男 著  
藤井 旭

定価880円

判型 B6判  
本文408頁 カラー24頁

何月何日に日食があって、何月には火星が接近する……というめぼしい出来事は天文ファンなら頭に刻みつけて楽しみにしているものだが、こまかい現象や毎日のデータとなると、つい見落してしまうことがある。そこで、思いついたのが、この『星日記』である。1年間毎日毎日の日の出、日の入りといった基礎データから、その日に見られる天文現象や観測のヒントなどを入れ、空欄には読者の方が観察の感想やメモを書きこんでくだされば、あとになってこのうえない思い出になり、また貴重な記録にもなるだろうというわけである。…… 著者序文より

〒101 東京都千代田区神田小川町3-6 ☎東京292-3711 振替・東京10802

**河出書房新社**